



学



校



便



り

第27号

since2006

久田学園佐世保女子 高等学校

H22(2010).3.6 [平成21年度 第4号]

今年度も残すところ、あと僅かになりました。学校生活の様々な場面でリードしてくれた3年生も無事卒業しました。1・2年生にとって、今年一年間、どのように過ごしたのでしょうか？長かった人もいれば、アッという間の月日だったと感じた人もいるでしょう。いずれにしても、久田学園での一年間、あるいは二年間で、入学時より心身ともに大きな成長を果たしていることは間違いありません。4月から新学期が始まります。新しい仲間も加わります。それぞれ自覚と目標を持って、心機一転、充実した毎日を過ごしていきましょう。

今回の「学校便り」は、今年度の締めくくりとして、秋から今までの学校行事を振り返ります。本校の学校行事は、**生徒一人ひとりが主役**です。何もしないで時間をやり過ごすということなど、一人としてできません。それぞれが主体的に考え、動き、協力し合うことによってのみ行事は成功をみるすることができます。そこに一体感が生まれ、また成長の糧となっています。

着物大会



11月1日(日)、長崎ブリックホールにて「きもの装いコンテスト九州大会」が開催されました。本校からは、振袖の部3名、カジュアルの部2名、学校対抗の部3名の計8名が出演。鏡も何もないステージ上で、わずか10分足らずのうちに着物を着装し、装いの技術や立ち居振る舞いなどが審査されます。優勝者には東京で行われる世界大会への切符が与えられることも

あって、出場した生徒たちは懸命に努力を重ねましたが、残念ながらあと一歩及びませんでした。しかし、全員が入賞を果たすことができ、来年、再来年に向け大いに期待を抱かせることにもなりました。

千人を超えるギャラリーが見つめる舞台に立つことなど、めったにできる経験ではありません。そのような状況の中、臆することなく堂々と自分を表現しやり遂げたことは、自分だけの財産となったはずです。このことを忘れず、これからの学校生活や人生に役立ててほしいと思います。

大久保小学校の皆さんと。

今年度も招いたり招かれたりと、お互いに行き来し、楽しい交流を図ることができました。生徒も、普段見せることのない表情を見せたり、思わぬお姉さんぶり!?を発揮したりして、良い刺激になっているようです。

本校卒業式の際には、小学校2年生の皆さんから、温かい手書きのメッセージもいただきました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

いも掘り

梅雨が始まる直前、一緒に植えたさつま芋も、ついに収穫の秋を迎えました。11月16日(月)、苗を植えた時と同様、協力し合って仲良くイモを掘り出します。茎をたどって、芋のありかを探ります。そして傷つけないよう慎重に土をかき出していくと、次から次にきれいな紅色の“お宝”が姿を現してきました。

このときまで、小学校の皆さん、本校生徒や職員、みんなで水やりや雑草取りなど世話をして来ました。その甲斐あって、今年は大豊作で、大きな芋もたくさん目につきました。



大久保小学校の皆さんと。 その2

心がなれあう交流会

11月25日(水)、小学校へおじゃまし、着物の着付けと礼儀作法をともに学びました。その後、皆さんがたててくれたお茶で、ほっと一息つきました。



おいも祭り



10日前に仲良く一緒に収穫したイモを使い、大久保小学校で「おいも祭り」が行われました。保護者や地域の方々に加え、本校生徒・職員もご招待を受けました。

小学2年生の皆さんの、精一杯の出し物や工夫を凝らした

ゲームの数々、そして心のこもったお芋料理と、時間を忘れて楽しく過ごすことができました。何より皆さんの元気と笑顔いっぱいの表情に、私たちを楽しませよう、喜んでもらおうとの思いが溢れていて、高校生もぜひ見習わなければいけないことだと感じました。

卒業式

2月20日(土)、卒業式を行いました。イモ掘りで交流のあった小学2年生の皆さんから、メッセージをいただきました。一枚一枚手書きで丁寧に書いてあり、その一生懸命さを想像しただけでも、温かさが伝わってきます。

また、式には大久保小学校の松田美穂教頭先生にもご臨席いただきました。実は卒業生の1人が、小学生の時に世話になっており、ご縁があってまた高校時代に再会したといういきさつがあります。高校卒業を小学校の恩師に直接お祝いされるなんて、とても幸せなことです。松田先生、ありがとうございました。



食アレンジメントコンテスト 開催。

今年も11月20日（金）、「食アレンジメントコンテスト」を開催しました。決められたテーマと予算に沿って、食材の仕入れから調理までを行い、味はもちろんアイデアや技術、見栄えなどを審査され、競い合うものです。

今回のテーマは“秋～旬の食材を使ったランチ～”で、6班に分かれての勝負となりました。また、清水中学校の末吉敬校長先生、大久保小学校の松田美穂教頭先生、清水小学校の岩下裕之介教頭先生にも特別審査員としてご参加いただきました。

1 班

タイトル：食アしだよ！全員集合！！

献立：秋の食材のそぼろ入り肉まん、秋の野菜たっぷりスープ、マーボーほうれん草、さつまいもの春巻き



Point: 大久保小学校2年生と一緒に育てたホ芋を使ってアレンジしました。肉まんの皮も手作りし、小さく切ったさつまいもを入れています。学校になっている柚子を使用したオリジナルのタレです。ほうれん草はマーボー風にし、ピリッとした辛さで寒い季節にはピッタリです!!春巻きにはさつまいも餡を包み、デザートとして楽しめます。

2 班

タイトル：秋真っ盛り

献立：きのこたっぷりおこわ、えのきと海老の春巻き、中華スープ、杏仁豆腐



Point: 秋が旬のきのこ類をたくさん使い、おこわや春巻きにして、秋の香りや味を楽しめるようにしました。もち米の入ったおこわはもちりと、ぶりぶり海老の入った春巻きはパリパリと、そしてデザートにはツルンとしたのどごしの杏仁豆腐です。それぞれの食感もお楽しみください。秋真っ盛りの中華ランチです。

3 班

タイトル：秋の和風ランチ

献立：秋野菜の炊き込みご飯、鶏肉のはちみつ照り焼き、和風コンソメスープ、プリンパフェ



Point: テーマに合わせ、秋野菜の炊き込みご飯を作りました。舞茸にさつまいも、昆布もだしだけではなく、具財として楽しめるように小さく切って炊きこみました。メインには蜂蜜が入った照り焼き。スープは隠し味に醤油を入れ、和風に仕上げました。デザートには手づくりプリンのパフェをお楽しみください。



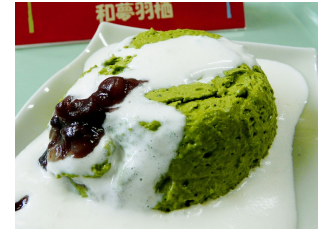
“秋”をテーマに、ランチタイム。

どのチームも良く工夫され、チームワークも抜群でした。甲乙つけがたい接戦となりましたが、審査の結果、**優勝が4班**、**準優勝が5班**という結果になりました。審査員の先生方が講評で「全ての料理一つ一つが食べる人のことを考えて作ってあり、優しさあふれる料理の数々でした。」とおっしゃっていました。日頃から本校で言っている“優しさ”や“思いやり”という心。調理を通して実践することができた取り組みとなりました。

4班

タイトル: **ホクホク定食と和夢羽栖**

献立: **お茶漬け風混ぜご飯、里芋と豚バラ肉の煮物
抹茶ムース**



Point: 秋の食材たっぷりの混ぜご飯と煮物、秋にぴったりのアツアツ・ホクホク定食です。混ぜご飯は、まずそのまま食べて秋の風味を楽しみ、その後はだしをかけてお茶漬け風にも楽しめるように工夫をしてみました。そして抹茶和夢羽栖には夢のように美味しく、羽のようにふわふわという意味を込めてつくってみました。

5班

タイトル: **Spicy&Healthy**

献立: **カレーそうめん、もやし入り煎り豆腐
チョコシフォンケーキ**



Point: のどごしの良いそうめんに、秋の食材たっぷりのカレーをかけて、新しい食べ方にアレンジしてみました。きのこやさつまいもなど秋の野菜が入ったカレーに、もやしや豆腐のヘルシーメニューを合わせました。ふわふわのシフォンケーキは、みんなが好きなチョコレート味で、愛情を込めたランチです。

6班

タイトル: **The European～食物繊維たっぷりランチ～**

献立: **グラタン風パスタ、おろしごぼうのニンニクスープ
さつまいものシナモンシュガー、紅茶**



Point: 寒い季節に合うように、温かくそして食物繊維がたっぷりとれるメニューをヨーロッパ風にアレンジしました。にんにくやグラタンで身体の中から温かくなり、またさつまいもなどの食物繊維も豊富にとれ、健康にも良いメニューです。シナモンシュガーとミルクティーをデザートにどうぞ!



留学生がやってきました。

12月1日(火)、マレーシア・シンガポールからの留学生4名が本校を訪れ、交流を行いました。留学生たちの「日本文化を体験でき、かつ同年代の世代と交流したい」という思いから本校での実施となったようです。茶道・華道・装道礼法・剣道そしてスクールランチと、生徒と一緒に授業を体験。片言の英語と身振り手振りを交えながら、必死にコミュニケーションを図る生徒の姿と、見よう見まねで異国の文化に挑戦する留学生の姿に、見守る大人たちも終始、頬がゆるみ通しの1日となりました。

日本文化体験・交流会

この交流の場として本校が選ばれたことは大変意味があることです。日本広しといえども、これだけの日本文化を学べる高校は他にはありません。自国の文化を学び理解した上で、他の異文化に接し、違いを楽しみ尊重するということが、このことが本当の国際理解・国際交流ではないでしょうか。日本を訪れる多くの外国の方々も、日本文化に触れることを期待しています。そのような意味でも、今回の交流会は大成功に終わったと言えるでしょう。また生徒たちにとっても、普段何気なく学んでいることの大切さを、改めて考える良い機会となりました。



ラジオ中継がやってきました。

ラジオ番組生出演

NBCラジオで放送中の情報番組「きいてモーニング」に、1月27日(水)、生徒3名と三ヶ島先生が出演しました。その日の番組のテーマが“箸”ということで、本校が箸の使い方を入試にとり入れているということもあり、今回のラジオ中継生出演となりました。生徒たちは緊張することなく、明るくハキハキと質問に答え、中継は無事終了。リポーターの方が、本校の入試にチャレンジするという場面もあり、見事合格の栄冠を勝ち取られました。



お魚もやってきました！！

毎年恒例となった「魚講習会」、今年は2・3年生が参加し、2月17日(水)に実施しました。講師は佐世保魚市場の皆様です。スクールランチで包丁を握っているとはいえ、魚をさばく機会は少ないので、良い実習となりました。その後、自分でさばいたお刺身、唐揚げ、ムニエル、つみれ汁など海の幸満載のぜいたく過ぎるお昼ごはんを楽しくいただきました。

魚講習会



ボランティア活動。



献血呼びかけ

本校では、奉仕団体として「Sクラブ（国際ソロプチミスト佐世保の学生組織）」が様々なボランティア活動しており、生徒全員が参加しています。その一環として、四ヶ町アーケード内において献血の呼びかけを行いました。足早に通り過ぎて行く人、快く応じてくれる人・・・様々ですが、助け合いの精神や人の温かさなど充実感あふれる活動です。

クリスマスボランティア



12月18日（金）には、アルカスSASEBOで、「クリスマス子ども大会」の準備のお手伝いをしてきました。約三千人の親子が集まり、手品や歌を楽しむというイベントです。そこで配られるお菓子のプレゼントを、袋に詰める作業が今回の役割です。まさに地味で目立たない裏方のお仕事ですが、縁の下の力持ちがあっってこそ何事もうまくいくものです。お菓子を受け取る子どもたちの笑顔を想像しながら、作業に励みました。



チャリティーコンサート

12月20日（日）、佐世保市民会館で行われた「歳末チャリティーコンサート」に参加。

まずは“ホール・ニュー・ワールド”“美女と野獣”でクリスマスムードを演出し、最後は“翼をください”を披露。客席から手拍子もおこり、一体感を醸し出しました。

緊張もあったかもしれませんが、参加者全員、普段の練習の成果を十分に発揮できたのではないのでしょうか。



朝市ぜんざい会

年が明けた1月9日（金）、佐世保朝市で行われた「ぜんざい会」のお手伝い。早朝5時に集合し、二千食分のぜんざいを作ります。眠い目をこすりながらの作業ですが、たくさんの方が列を作り始め、ピリッと緊張感が走ります。「ありがとう」「美味しかったよ」の言葉が眠気を吹き飛ばし、冷えた体と心に染み渡ります。『早起きは三文の徳』、それ以上の経験をする事ができた新年の朝でした。

子どもたちとの触れ合い。

保育実習

1年生の生徒が、2月15日（月）保育実習を行いました。小さい子供たちと一緒に歌って踊って遊んだり、一体どちらが子供かわからない程、楽しい時間を過ごすことができました。半日だけの体験ではありましたが、元気な子供たちの相手をし、クタクタとなりました。改めて幼稚園や保育園の先生の大変さが身を持ってわかりました。



今回、お世話になったのは進徳幼稚園です。ご指導くださいました先生方、一緒に遊んでくれた園児の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

また、本校から2年前に短大に進学した卒業生が、進徳幼稚園の先生として4月から採用されるとのこと。重ねてありがとうございます。どうぞピシピシ鍛えてあげてほしいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

歴史をつないでいくこと。

創立記念式典

1月20日（水）、久田学園創立108周年記念式典を開催しました。久田学園は東北の私立学校の中では一番歴史が古く、今から1世紀以上も前、久田ワキ先生によって創立されました。当時の男性中心の社会で、女子教育を推進することなど、今ではとても想像がつかないほどの苦労があったのではないのでしょうか。その強い思いは、今もずっと引き継がれ、本校の基盤であることは変わりありません。

式典では、1・3年生がスピーチ、2年生が着物の着装を披露し、生徒全員それぞれが、舞台上で自分の精一杯の表現を発表することができました。



送別会

卒業式を一週間後に控えた3月13日（土）、3年生のための送別会が開かれました。色々な場面でお世話になった3年生を楽しませようと、下級生が料理の腕を振るい、みんなで会食し、その後、各クラスが出し物を披露しました。

出し物は、歌あり、ダンスあり、手品ありとバラエティーに富み大変盛り上がりしました。中でも、ある先生は鷹匠の衣装で身を包み、自慢の美声を披露。アンコールにも応えるなど、場を大いに盛り上げました。

さらに謎のコーラスグループが登場。男女混声の5名が頭に雀の絵を掲げ、ピアノに合わせ声を揃えます。加えて、ブラハ交響楽団の名指揮者（自称）も姿を現し、賑やかなうちに会はお開きとなりました。

卒業式

今年も自分の夢に向かい、3年生が巣立っていきました。前途を祝福するかのような穏やかな天候のもと、2月20日（土）、卒業式を挙げる。たびだちの言葉も頼もしく、3年間の成長の跡を大きく感じさせる卒業生たち。これからもひたむきに、人生を歩いていくことを確信させる良い卒業式となりました。

今年の卒業式には、市内8中学校の校長・教頭先生、大久保小学校の教頭先生をはじめ、多数の来賓の方が祝福にかけつけてくださいました。たくさんの方々に見守られ、祝福された卒業生は幸せ者です。「これからの人生に、幸多かれ」と祈るばかりです。卒業おめでとう！！

